

NPO等協働海外人材育成

●協働先NGO/NPO

(特活)女性エンパワーメントセンター福岡

実施地域

福岡県

事業実施期間

2008年2月4日～3月10日

協力形態

委託

実施内容

フィリピンシキホール島の「Cow Girls Project」(女性畜産計画)のリーダー的存在の女性を福岡に招き、畜産・野菜栽培の研修をしてもらい、その技術を村に還元・普及してもらう。



牧場での研修

事業目的/背景

背景:福岡県では、昭和47年から平成15年度までに353名の海外技術研修員に対し、多くの分野の専門研修を行ってきた。2004年度より福岡県の委託を受け実施。

目的:帰国後の母国の産業発展への貢献及び、県民との交流による国際理解推進。

協働のきっかけ

2004年度より、国の制度改正に伴い、新たに県内のNPO等の団体の協力を得て、より効果的な海外の人材育成を推進するため、提案公募型事業を実施することとした。

(特活)女性エンパワーメントセンター福岡は、代表者の長年にわたる在住外国人支援経験を活かして設立された団体で、2006年度には福岡県からの委託により、福岡県内在住外国人に関する現状と市町村などによる外

国人住民支援策の実施調査を行うなど、信頼できる団体であったことや、また、提案された企画の内容が充実しており、県民と研修員との交流促進や、研修員が習得した技術を自国で活かせるような持続性・発展性が期待できる内容であったため、協働先として選んだ。

役割分担

自治体側：

- ・ 業務全般のコーディネート
- ・ NPOとの連絡調整及び企画提案、招聘手続きに対する指導
- ・ 研修員の健康診断料、保険料、支度料の負担
- ・ 交流会、研修報告会等の開催
- ・ 研修報告書作成に係るNPOへの助言及び指導、全体報告書のとりまとめ、作成及び提出
- ・ 県との連絡調整

NGO/NPO側：

- ・ 研修員、研修内容、スケジュール、研修先等の企画提案
- ・ 招聘手続き、渡航準備事務
- ・ 研修員の健康診断の実施、保険への加入
- ・ 宿舍の契約・支払い、滞在費・人材育成費等支払い事務
- ・ 基礎研修の実施
- ・ 研修員に対する言語面でのフォロー、生活指導、カウンセリング
- ・ 週末等休日におけるスケジュール調整（ホームステイ、ホームビジット等）

協働によるメリット等

メリット：

NPOが他のNPO（オイスカ西日本研修センター）とのネットワークをもっていたため、農業研修、日本語研修の受入をスムーズに行うことができた。

事業実施までの問題とその対応

申請者の「出生届け」が出されていなかったことにより、パスポート取得がすぐにはできなかった。「出生届け遅延登録」の手続きに1か月かかり、フィリピンのパスポート発給システムの変更によりさらに遅れたが、フィリピン領事館担当者との連絡により、比較的早急に対処できた。

事業評価／今後の展望

来日した研修生は大変熱心に家畜や野菜栽培について学び、同時に日本の文化についても学んだ。帰国後は学んだことを村人と分かち合い、リーダーとして家畜、野菜を育て、それが収入源につながり、教育・経済などの様々な分野での村全体の発展につながると思われる。



（特活）女性エンパワーメント福岡の代表と研修生

（特活）女性エンパワーメントセンター福岡

代表者は、アジアの女性問題に対して1980年代より率先して活動を行ってきており、「アジアに生きる会」（1988年）、「アジア女性センター」（1997年）の設立を通して、ホットラインや民間シェルターの設置など、外国人女性が抱える問題を解決するサポートを行ってきた。その後、在住外国人の増加に伴い、サポートだけでなく、在住外国人女性が活躍できる場所の提供や共に活動していくことが重要と感じ、2003年に「女性エンパワーメントセンター」を設立した。

主な活動内容は、多言語ホットラインやシェルター運営、アジアの女性が行う外国語クラス開催や通訳・翻訳サービス、アジアの女性団体との交流やフェアトレード、他団体との協働による日本語教室新規開設事業等。